

事務事業評価表 平成22年度

政策 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実  
 施策 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造  
 基本事業 自主的市民文化 芸術活動の育成・支援

事業名 **窯業資料等収集事業**

[0480]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	郷土資料館	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>小森忍ほか道内作家作品及び市内窯業関係資料</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>・展示作品・窯業関係資料の充実                  芸術文化鑑賞の機会の充実</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>・江別市及び道内作家、市ゆかりの小森忍作品の優品を購入し収集・展示する。                  ・市内窯業関係資料を収集し収集・展示する。                  ・小森忍や道内作家の作品や窯業関係資料の情報収集 調査研究を行う</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	小森忍ほか道内作家作品数 (把握困難)	点				
対象指標2	窯業関係資料数 (把握困難)					
活動指標1	作品購入数	点	0	1	0	0
活動指標2	寄贈等作品資料数	点	17	12		148
成果指標1	収蔵作品数	点	902	967	1,036	915
成果指標2	収蔵窯業資料数	点	630	630	630	778
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	980	150	0	100
正職員人件費 (B)		千円	1,675	1,672	415	1,249
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>2,655</b>	<b>1,822</b>	<b>415</b>	<b>1,349</b>

費用内訳	
21年度	

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	収蔵作品の充実	事業を取り巻く環境変化	
--------	---------	-------------	--

## 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
 妥当である  
 妥当性が低い

理由・  
 根拠は？

収蔵品の充実は不可欠。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
 貢献度ふつう  
 貢献度小さい  
 基礎的事務事業

理由・  
 根拠は？

優れた作品を後世に残すこと、作品鑑賞の機会を充実させることの意義は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている  
 どちらかといえばあがっている  
 あがらない

理由・  
 根拠は？

小森資料は、平成18年度及び20年度の寄託等を受け収蔵数・質とも充実してきている。  
 現代作品の購入については、今後購入を計画していないので、企画展等出品作品の寄贈を依頼し充実を図りたい。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
 成果向上余地 中  
 成果向上余地 小・なし

理由・  
 根拠は？

資料の充実化に伴って少しずつだが、展示も充実していく。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
 ない

理由・  
 根拠は？

展覧会出品作への寄贈依頼を行う  
 作品購入は極力抑え、半年ローテーションの借用を作家に依頼することにより経費の削減とともに常設展示の新鮮さを保つ。